

主な提言内容

安心と希望の医療確保ビジョン

2 地域で支える医療の推進 (1) 救急医療の改善策の推進

ア 救急医療の充実

- ① 量的充実
 - ・調査に基づく初期、二次、三次救急の更なる整備
- ② 質的充実
 - ・管制塔機能を担う医療機関の整備・人材の育成
 - ・医師等の交代勤務制の整備
 - ・地域全体の各医療機関の連携
 - 急性期を脱した患者を受け入れる病床の確保等
 - 救急患者の効率的な振り分け等
 - ・医療機関と消防機関との連携強化
 - 救急患者受入コーディネーターの配置等
 - ・住民との情報共有

イ 夜間・救急利用の適正化

- ① 国民への普及啓発
 - ・夜間救急外来の適正利用等
- ② 小児救急電話相談事業(#8000)の拡充等

第三次救急医療機関の充実

救命救急センターに対する新しい評価

- ・求められる機能の明確化、第三者の視点・検証が可能な評価、地域特性等を勘案した評価項目を導入
- ・交代勤務制を含む病院勤務医の労働環境改善に係る評価項目を追加
- ・評価結果をできる限り詳細に国民へ情報提供 等

救命救急センターの整備のあり方

- ・救急医療に関するニーズの増大等により、**救命救急センター、救急医療を担う病院勤務医に過度の負担**
- ・救命救急センターと同等の実績等がある施設であれば新たに救命救急センターとして位置づけ
- ・ヘリコプター等による搬送やITの活用も検討 等

第二次救急医療機関の充実

第二次救急医療機関の状況及び今後の整備

- ・地域の実情に応じた取組を支援
- ・救急医療機関の連携を推進しつつ、**第二次救急医療機関の機能の充実**を図る
- ・全ての第二次救急医療機関について、診療体制や活動実績に関する調査を実施し、診療実績に応じた支援を検討 等

夜間・休日の救急医療を担う医師に対する財政的な支援

救急搬送における課題と円滑な受入れ推進について

医療機関と消防機関の連携

- ・病状に応じて適切な医療機関・診療科に**患者を振り分ける管制塔機能を整備**
- ・地域の実情に精通した医師等の**救急患者受入コーディネーターの普及**
- ・小児救急電話相談事業(#8000)の拡充を検討 等

・ER型救急医療機関については、まず正確な実態把握を行う

円滑な受入れ推進に向けた対応

- ・**診療所医師の夜間・休日の外来診療や救急医療への参画を推進**
- ・院内トリアージを適切に行える医療従事者の育成と配置
- ・**円滑な転床・転院、施設間連携を図るための専任者を救急医療機関に配置**
- ・**急性期を乗り越えた患者が転床・転院できる地域の体制確保**
- ・救急医療体制の現状や転床・転院等に関する国民に理解を求める 等